

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.852
2019.10.20

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

台風19号で甚大な被害

現場へかけつけ対応

10月12日、大型で非常に強い台風19号が日本列島を縦断し、さいたま市内の各地にも被害をもたらしました。党市議団の市議も、それぞれ市民の要望をうかがいながら地域の被災状況を確認しました。



鴻沼川（桜区）が水位ぎりぎりとなる

桜区 久保みき市議 浦和卸売市場が水浸しに

桜田、新開地域をまわりました。浦和卸売市場（桜区桜田）では「売り物がすべてダメになり、3000万円くらいの損失」（食品会社の関係者）との話をうかがい、言葉が見つかりません。片付けにもマンパワーが必要です。新開では、ご高齢のお宅も多いので、災害ボランティアの方を紹介したりしました。

12日は、鴨川と鴻沼川が「氾濫の恐れ」として避難勧告が出ました。しかし、桜区の避難所はすべて浸水の恐れのある場所です。



災害ゴミが山積み



浦和卸売市場で要望をうかがう

避難所によっては3階などありますが、区に確認したら「建物の上の方に避難してください」とのことでした。広域避難の在り方も考えていく必要があります。

緑区 松村としお市議 新見沼大橋有料道路 こんな時こそ無料に

見沼田んぼが水没し、農作物の被害が深刻です。営農支援が必要です。

また国道463号線（旧道）が道路冠水で通行止めになり、車が国道463号バイパスに流れ、新見沼有料道路料金所が大渋滞しました。せめて災害時は無料にすべきです。この件について、村岡まさつぐ県議と伊藤岳参院議員にも県への働きかけを陳情要望しました。

農家から聞き取りをおこなう松村市議



冠水した見沼田んぼの農道

中央区 たけこし連市議 災害ゴミの処理方法 市の対応に変化

台風19号から一夜明けた10月13日、中央区内をまわりました。まず行ったのは区内の巡回、そして被害が大きい地域の確認作業です。その後、60軒ほどのお宅を訪問しながら「罹災証明書交付申請書」と「災害に伴う支援制度一覧」の配布、説明を実施。多くのお宅が床下浸水、床上浸水の被害にあわれていました。

さまざまな要望をうかがいましたが、そのなかでとくに強かったのは「粗大ゴミの取り扱い」です。朝の段階では「個人の責任で処理してほしい」と市が回答していましたが、私も含めあちこちから要望を届けた結果、「災害ゴミとして取り扱い、無償で処理をする」と、対応が大幅に変化しました。次に要望が強かったのは「道の消毒」。この問題も市に対して確認し、交渉すると「未定」から「乾いた地域から私道公道問わず消毒を順次行

床上浸水により、たみまで水没した住宅



区内の川を見回るたけこし市議

う」と対応が変化しました。

しかし、問題だと思ったのは、さいたま市が一括して消毒事業の委託をするため、各行政区においてどのタイミングで消毒がおこなわれるか区役所が把握できないことです。想定をはるかに超える災害であるからこそ、一軒一軒、きめ細やかに訪問し説明する必要があります。引き続き対応していきます。

決算委員会 保健福祉

2037人が 希望の認可保育所に入れず

10月4日、久保みき市議が、決算特別委員会（保健福祉委員会関連）で保育園や学童保育の問題をとりあげました。

昨年度、さいたま市では、希望した認可保育所に入れなかった（＝不承諾だった）お子さんが2037人いたことが明らかになりました。これは過去最大の人数です。その後、

育児休業を延長するなどして、2019年4月時点で待機児童は393人となりました。久保市議は「保護者にとっては死活問題。希望するすべての子どもが保育園に入れるようにするのは行政の責任」と迫りました。

また、民間放課後児童クラブについて、委託金を増やし、国が用意している処遇改善費



を満額活用して低すぎる児童支援員の処遇を改善するよう求め、前向きな答弁を得ることができました。

保健福祉分野では、難病見舞金の廃止など次々と福祉が削減され続けてきました。久保

市議が「昨年の決算でいくら削減されたのか」と質したところ、市は「約19億5000万円」と答弁。久保市議は、これ以上の福祉削減はおこなわないよう求めました。

また久保市議は、市民から高齢者施設内での虐待の相談を受けたことを示しながら「高齢者施設における虐待について、潜在的な虐待もいれたら相当数存在するのではないか。高齢者施設においても、保育園同様、抜き打ち調査を実施し、虐待防止に努めるべき」と求めました。

その他、児童相談所の機能強化、精神障がい者の社会的入院の実態調査、障がい者の移動支援の充実等についてとりあげました。

決算委員会 文教

少人数学級で教員の負担軽減を



10月1日、松村としお市議が、決算特別委員会（文教委員会関連）で、教員の長時間勤務と病休者が増えている問題をとりあげました。

党市議団が求めてきた教職員のタイムカードが昨年10月から導入され、本格的に教員の勤務時間把握がはじまりました。2018年度の残業時間の月平均は小学校45時間、中学校55時間でした。長時間勤務の背景には業務量の多さがあります。

松村 本市は学級当たりの生徒数が政令市一多い。原因は、

教育委員会 人口増にともなう児童生徒数の増加が原因。

松村 本市と大阪市以外の政令市は少人数学級を広げている。

教育委員会 それは認識している。

松村 教員1人の受けもつ子どもの人数を減らせば業務量削減に直結する。本市も他政令市に見習って学級編成基準を引き下げるべきだ。

教育委員会は「少人数学級は国の責任でおこなうよう要望したい」と従来の答弁をくり返しました。

昨年度の精神疾患による教員の病休者数が小学校48人、中学校24人と5年前の倍以上に増加しました。松村市議は「グローバル

スタディなど市の施策が増えている。見直しも必要」と指摘。教育委員会は「質の高い教育をおこなうために施策を工夫している。負担につながるとは考えていない」と答えましたが、松村市議は「負担になっていないか検証すべきだ」と重ねて求めました。

また松村市議は、文化芸術行政についても質問。昨年九条俳句不掲載訴訟で市が敗訴したことの反省に立って、文化芸術行政についても思想信条の自由、表現の自由を守る立場でとりくむよう求めました。

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連